

令和4年度(2022年度) 学校教育自己診断アンケート 結果					
	生徒	3年	2年	1年	平均
1	学校へ行くのが楽しい。	69.0%	71.8%	73.3%	71.4%
2	誰に対しても挨拶するようにしている。	86.8%	90.9%	89.9%	89.2%
3	学校のルールは守ろうとしている。	93.4%	94.7%	97.9%	95.3%
4	授業はわかりやすい。	73.3%	63.3%	75.4%	70.7%
5	落ち着いた学習環境が整っている。	67.0%	68.1%	72.3%	69.1%
6	学校生活についての先生の指導は納得できる。	52.3%	52.7%	68.4%	57.8%
7	将来の進路や生き方について考える機会がある。	85.7%	92.6%	81.3%	86.5%
8	先生はいじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	79.5%	75.0%	84.0%	79.5%
9	悩みや相談に応じてくれる（くれそうな）先生がいる。	80.6%	84.9%	87.2%	84.2%
10	人権H Rや講演会を通じて、人権についての意識が高まった。	79.0%	88.8%	89.3%	85.7%
11	学校は部活動や行事が盛んである。	70.1%	69.7%	89.3%	76.4%
12	体育祭や文化祭、修学旅行など行事は楽しく行えるよう工夫されている。	62.9%	81.9%	89.3%	78.0%
	保護者	3年	2年	1年	平均
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	76.4%	86.0%	77.6%	80.0%
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	74.5%	64.0%	65.5%	68.0%
3	家庭学習定着について、課題や小テストなどで促されている。	62.3%	74.4%	69.6%	68.8%
4	学校の生徒指導の方針に共感できる。	78.3%	82.6%	78.3%	79.7%
5	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	82.1%	88.4%	71.2%	80.6%
6	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	75.5%	78.8%	75.2%	76.5%
7	学校は、子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	80.6%	83.7%	83.6%	82.6%
8	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	82.1%	88.2%	76.5%	82.3%
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	83.7%	77.6%	70.0%	77.1%
10	子どもを枚方津田高校に通わせてよかったと思う。	95.3%	91.9%	85.2%	90.8%
	教職員	R4年度	R3年度		
1	学校の教育活動について、教職員間で話す機会がある。	88.2%	88.2%		
2	教育活動に対して評価を行い、次年度の計画に生かしている。	76.5%	64.7%		
3	主体的・対話的な学びのある授業やICT活用した授業を実践しようと努力している。	94.1%	76.0%		
4	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	88.2%	76.5%		
5	生徒一人ひとりが、興味や適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい指導を行っている。	88.2%	76.5%		
6	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	76.5%	82.4%		
7	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員やS Cと相談することができる。	94.1%	88.2%		
8	学校行事などが生徒にとって魅力あるものに工夫されている。	58.8%	64.7%		
9	部活動などの生徒の活動が十分できる環境が整えられている。	64.7%	88.2%		
10	保護者や地域に学校の教育活動の情報提供がなされている。	70.6%	82.4%		

【分析】

○学習指導等

授業への評価は、生徒 70.7% (74.6%) と低下したが、保護者 68.0% (55.9%)、教員 76.5% (64.7%) は上昇した。主体的・能動的な学習手法は、時に騒がしく感じることもあり、少なからず影響している。出席停止中のリモート授業をはじめ、学習環境整備を一層進め、来年度に向け、授業規律の徹底、研修、公開授業積極的に取り組み、授業力の向上を図っていく。

○進路指導等

進路指導の評価は、生徒 86.5% (84.4%)、保護者 80.6% (80.9%)、教員 88.2% (76.5%) といずれも、高いポイント数を維持している。進路指導部が中心となり、組織的・計画的な生徒、保護者へのきめ細かい指導及び情報提供ができたことが高評価につながっていると考えられる。

○生徒指導

生徒指導の評価は、生徒 57.8% (52.3%)、保護者 79.7% (75.6%)、教員 88.2% (76.5%)、全てのポイント数が上昇した。生徒に対し寄り添う姿勢とカウンセリングマインドをもって接し、生徒の納得する指導を組織的に取り組もうとしていることが要因と思われる。しかし生徒評価 (50%台) の数値は決して高いものではなくさらなる要因を分析し、改善を図る必要がある。

○学校行事、部活動

生徒 76.4% (75.9%)、保護者 77.1% (50.8%) とともに昨年度を上回った。特に、保護者のポイント数は 20 ポイント以上も上昇した。感染症対策をしっかりと講じながら体育祭、文化祭、遠足等、平時の学校行事を行うことができたことが大きい。

【まとめ】

新型コロナウイルスの影響はあったが、授業、行事、部活動で平時の活動に少しずつ戻ることができた。学校への満足度は生徒 71.4% (76.0%)、保護者 80.0% (72.5%) と概ね高いポイント数であったが、生徒のポイント数は低下した。授業評価の減少が一つの要因と考えられるが、更なる要因を分析し、改善を図る必要があると考えている。次年度も安全・安心を土台に、納得・満足を感じてもらえる学校運営をめざす。